

平成 22 年 7 月 20 日
(7 月 19 日 17:00 現在)
土 木 局

7月16日 庄原の豪雨への対応状況について

1 被災直後から7月19日までの対応状況

(1) 県道中迫川北線の交通開放への取り組み

- ・16日 18時30分 川北側から地元建設業者2社, 西城側から3社へ作業指示
- ・17日 0時50分 西城側から大戸地区の孤立集落まで交通開放
- ・18日 9時00分 全線へ重機(キャタピラ式)での進入が可能
- ・19日 17時 全線において災害対策車輛(普通車)の通行へ向け作業中

(2) 被災状況調査等への取り組み

7月17日

- ・ 建設事務所庄原支所による被災状況調査開始【～22日】
- ・ 庄原市役所へ土木技術職員を派遣【～18日】
- ・ 中国地整, 砂防課による現地調査
- ・ 知事による現地調査
- ・ TEC-FORCE へ派遣要請(知事及び庄原市長)
- ・ TEC-FORCE(中国地整)先遣隊の派遣

7月18日

- ・ TEC-FORCE(国総研, 土研), 県による土砂災害緊急調査【～19日】・・・詳細は4に記載
- ・ TEC-FORCE(国交省河川局, 中国地整), 県, 庄原市による災害緊急調査・・・詳細は5に記載

2 7月20日以降の当面の調査対応予定

7月20日

- ・ 河川課(2名)による災害関連事業箇所(大津恵川)の現地調査
- ・ コンサルタント(4社)による災害調査開始
- ・ TEC-FORCE(中国地整), 県, 庄原市による打合せ[庄原市役所, 13:30～]

7月21日～22日

- ・ TEC-FORCE(中国地整), 県, 砂防ボランティア, コンサルタントによる土砂災害緊急調査(6班程度)

3 災害査定の予定

平成 22 年 9 月 13 日(月)～17 日(金)

4 TEC-FORCE(国総研, 土研), 県による土砂災害緊急調査結果

(1)調査者

| | | | |
|-------------|---------|------|-----|
| 国土技術政策総合研究所 | 土砂災害研究官 | 西真人 | 他1名 |
| (独)土木研究所 | 主任研究員 | 山越隆雄 | 他1名 |
| 中国地整 | 河川調査官 | 板屋英治 | 他3名 |
| 広島県 | 砂防課職員 | | 1名 |

(2)日時等

7月18日(日)～19日(月)

- ・ へり調査及び現地踏査
- ・ 庄原市長へ報告(7月19日11:30)
- ・ 県土木局長へ報告(7月19日15:30)

(3)調査結果

- ・ 篠堂を中心とする東西約3km, 南北約2km の矩形の狭い範囲に, 非常に多くの崩壊・土石流が発生。
- ・ 篠堂川沿いは土砂の堆積が顕著。
- ・ 篠堂地区では下流の閉塞した県道橋付近から上流で堆積傾向が顕著。
- ・ 重行地区では, 大津恵川合流点付近, その下流の橋梁部の閉塞箇所でも顕著に堆積。
- ・ 篠堂地区の上流側の家屋は支溪から流出した土石流により被災しているが, 下流側の本川沿いの家屋は, 本川の流れによって被害が発生。

(4)指導内容

- ・ 本川の河床の土砂, 支川の溪流の不安定土砂が今後, 比較的弱い雨であっても二次的に流出する危険性がある。これらに対し, 警戒が必要であるとともに, いち早い土砂撤去が望まれる。
- ・ 今後, 捜索活動, 被害のあった家屋への一時帰宅, 帰宅, または, 緊急工事を行う際には警戒避難体制の強化を進めなければならない。
- ・ 土砂災害の危険度に係るより詳細な調査が必要である。

5 TEC-FORCE(総括災害査定官, 中国地整), 県, 庄原市による災害緊急調査

(1)調査者

国土交通省河川局

| | | |
|-----|---------|------|
| 防災課 | 総括災害査定官 | 大谷博信 |
| 防災課 | 改良技術係長 | 竹中宏徳 |
| 治水課 | 課長補佐 | 福田達郎 |
| 保全課 | 課長補佐 | 吉柳岳志 |

中国地方整備局

企画部 工事品質調整官 安藤繁雄

(同行: 県土木局河川課, 道路整備課, 庄原市)

(2)日時

平成22年7月18日(日)9:45～15:00

(3)調査地域

庄原市内被災地(大津恵川, 大戸川, 県道中迫川北線, 篠堂川): 上空, 現地

(4) 指導内容

- ・ 梅雨は明けたが、台風シーズンが近いので、気象台からの注意報などが発令された場合は、住民避難体制を1ランクアップで考えた方がよい。
- ・ 橋梁の上流側に堆積した流木を除去及び河川に堆積した土砂を急いで除去して、流下断面を確保すること。
- ・ 土砂災害の原因については、時間雨量が64mmと公表されているが、実際には局地的にもっと強い降雨があったものと思われる。
- ・ 災害査定における留意事項(庄原ダム建設区域及び下流は、暫定的な工法で災害提案とすることなど)

6 今後の対応方針

(1) 土砂災害緊急調査

○ 目的

- ・ 緊急度の高い箇所を対象に下記調査を実施
- ・ 斜面崩壊・土砂流出箇所の調査及びとりまとめ
- ・ 住民等の警戒避難に資する斜面・溪流の危険度調査

○ 日時

- ・ 平成22年7月21日～22日(6班程度の体制)

○ 体制

- ・ TEC-FORCE(中国地整)
- ・ 県職員
- ・ 砂防ボランティア
- ・ コンサルタント

(2) 警戒避難体制の確保

○ 警戒避難体制の確保に係る庄原市への支援(7月19日から検討に着手)

- ・ 警戒避難に係る雨量基準の検討
- ・ 域内の土砂流出検知に関連する体制整備の検討(ワイヤーセンサー等)

(3) 堆積土砂の撤去等

○ 撤去方針について、TEC-FORCE(中国地整)の助言を得ながら、県及び市で打合せ なお、大戸川下流部では、仮流路を確保するため掘削を開始。

○ 日時

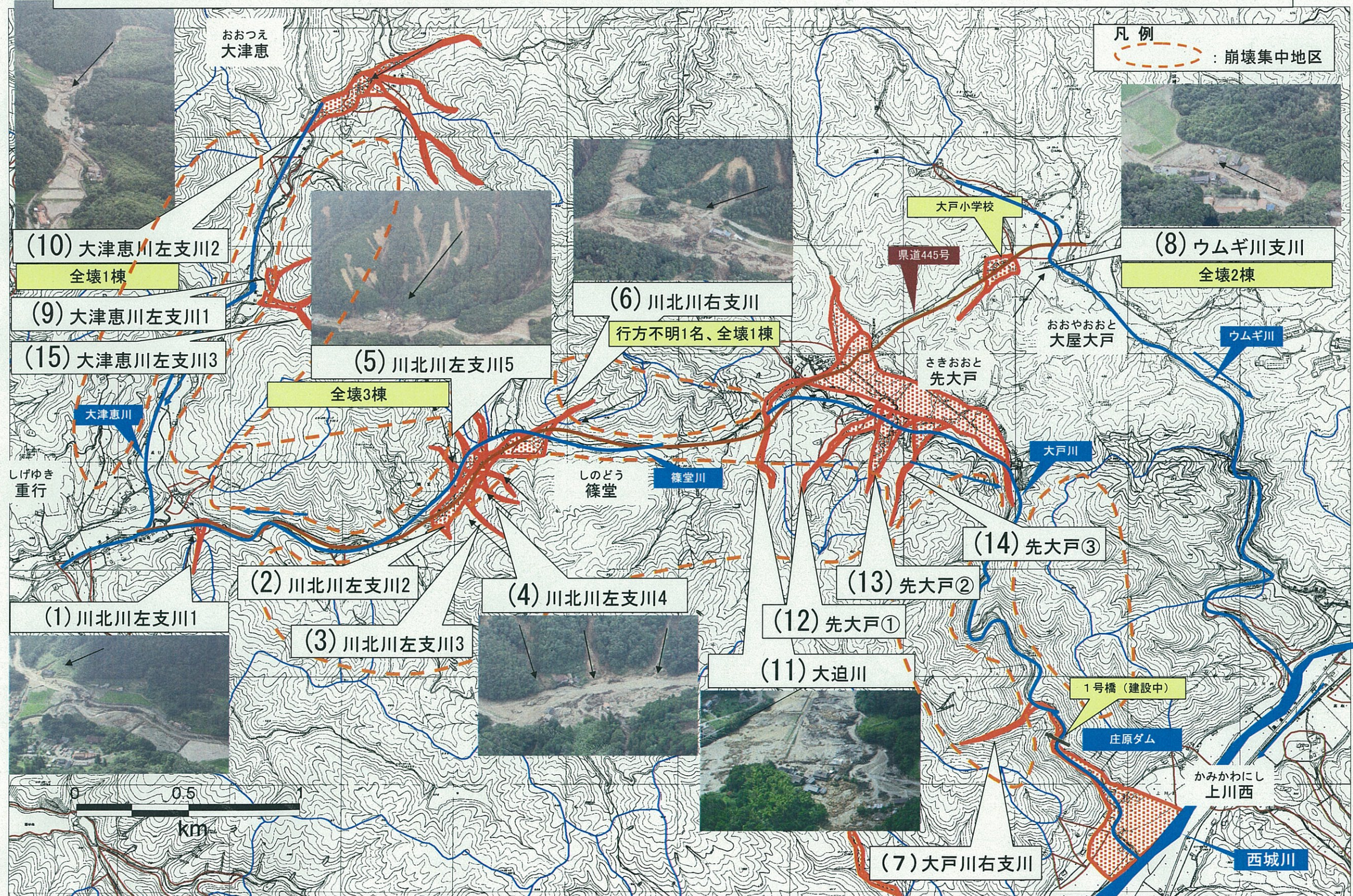
平成22年7月20日(火)13:30～(庄原市役所)

(4) 災害復旧に向けた体制の確保(案)

- 土木局、農林水産局などの関係部署で、土砂や流木の処分方針、復旧方針及び役割分担等を協議決定するための横断的な組織を立ち上げる。
- 大規模な災害発生時の対応計画による土木局、都市局内の応援体制を早期に構築する。

7月16日 梅雨前線豪雨による庄原地区土砂災害概要(1/2)

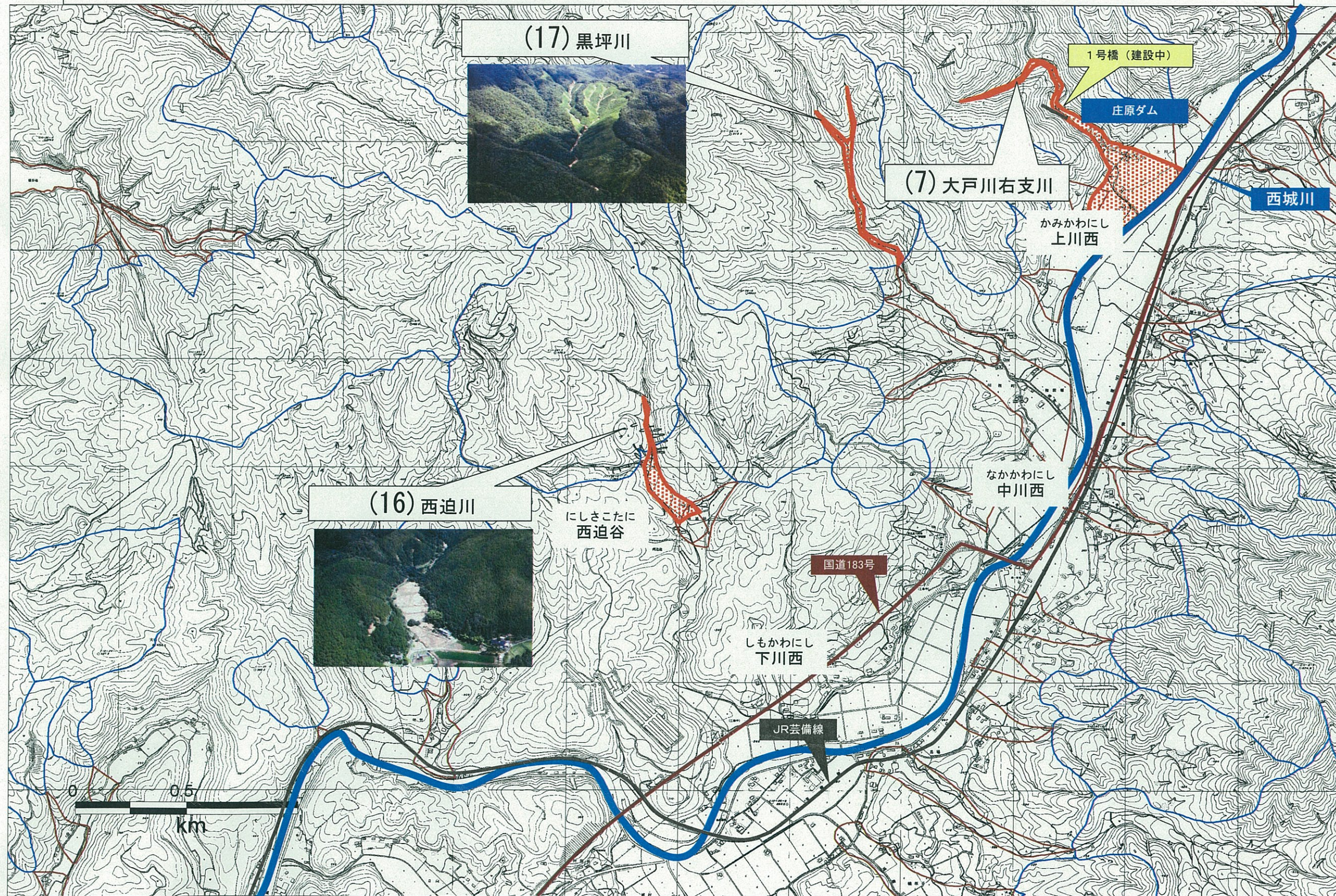
平成22年7月18日18:00 現在



※ 人家等に被害を及ぼした土砂災害発生箇所(土砂災害危険箇所からの土砂流出を含む)の内、確認できたもの

7月16日 梅雨前線豪雨による庄原地区土砂災害概要(2/2)

平成22年7月18日18:00 現在



※ 人家等に被害を及ぼした土砂災害発生箇所(土砂災害危険箇所からの土砂流出を含む)の内、確認できたもの